

都民生活に関する世論調査〈概要〉

令和3年1月

調査実施の概要

1 調査目的

都民の日常生活に関わる意識や、東京に対する意識を捉えるとともに、都政に対する都民の意識や意見・要望を把握し、今後の都政運営の参考とする。

また、今回は随時テーマとして、都民のスポーツ活動の実施状況や障害者スポーツへの関心について把握し、スポーツ都市東京の実現に向けたスポーツ推進策展開のための参考とする。

2 調査項目

- (1) 暮らし
- (2) 住んでいる地域
- (3) 東京
- (4) 都政への要望
- (5) 都民のスポーツ活動・障害者スポーツ

3 調査設計

- (1) 調査対象：東京都全域に住む満18歳以上の男女個人
- (2) 標本数：4,000標本〔令和元年までは3,000標本〕
- (3) 標本抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- (4) 調査方法：郵送法（郵送配布・郵送回収、WEB〔インターネット〕回答併用）
〔令和元年までは個別訪問面接聴取法〕
- (5) 調査期間：令和2年9月4日～10月4日
- (6) 調査実施機関：株式会社 RJCリサーチ

4 回収結果

- (1) 有効回収標本数（率） 2,273標本（56.8%）〔うち郵送1,546標本、インターネット727標本〕
- (2) 未完了標本数（率） 1,727標本（43.2%）

東京都生活文化局

調査結果の概要

※nは質問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す。

※個々の比率の合計は、全体の計に一致しないことがある。

※M. A. はいくつでも選択、5M. A. は5つ選択、3M. A. は3つ選択

※M. T. は回答の合計をnで割った比率

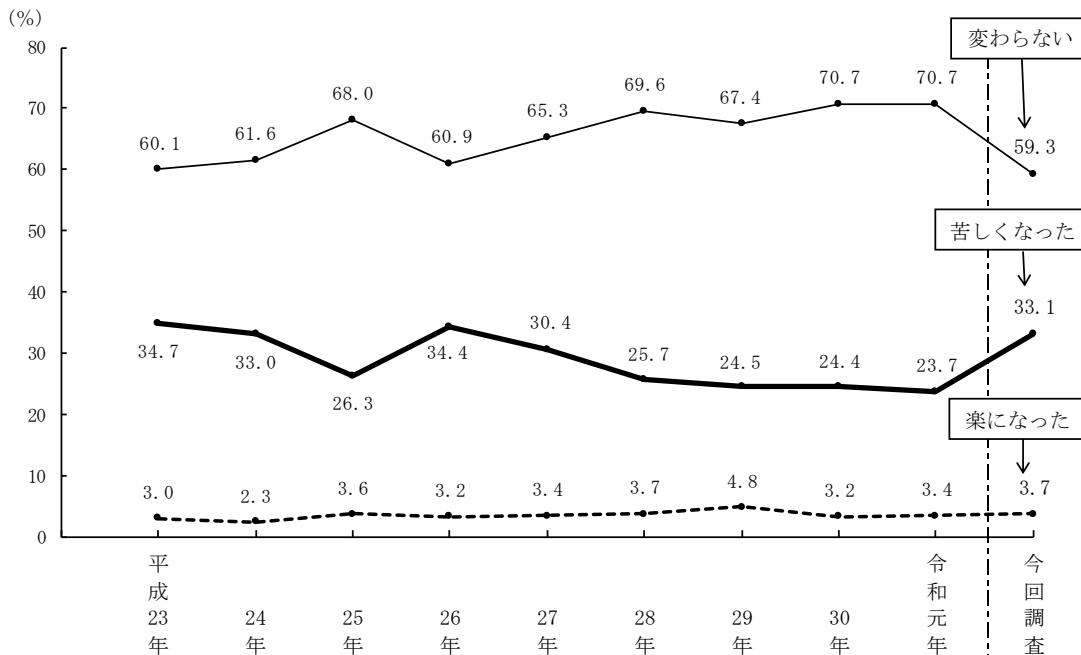
※前回までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため、調査結果を単純に比較することはできないので留意が必要

1 暮らし

(1) 暮らしむきの変化：暮らしは、昨年（令和元年）の今ごろと比べて楽になったか、苦しくなったかを聞いた。

(本文P3～P8)

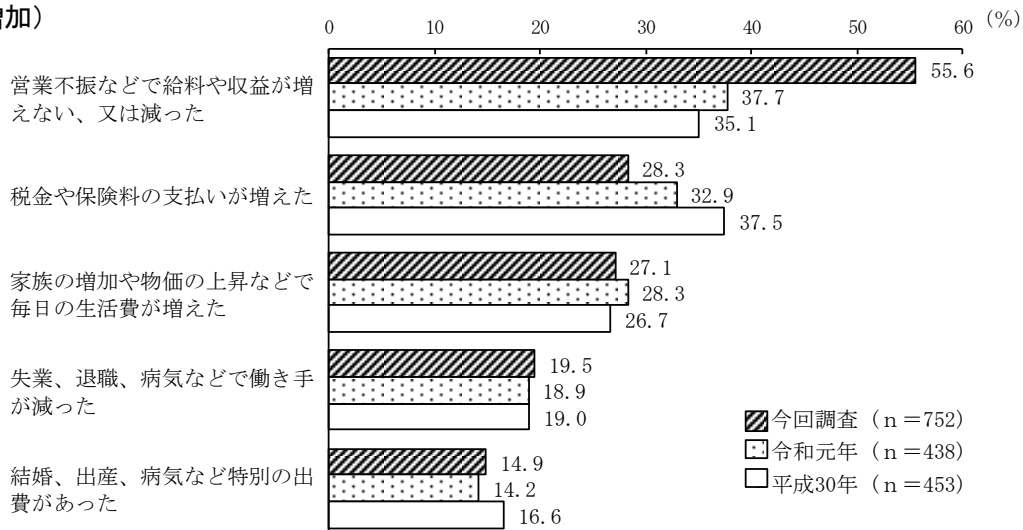
- ・「変わらない」は59%（昨年より11ポイント減少）
- ・「苦しくなった」は33%（昨年より9ポイント増加）



[暮らしむきが苦しくなった理由]：「苦しくなった」と答えた人（752人）に、その理由を聞いた。

(M. A.) (上位5位)

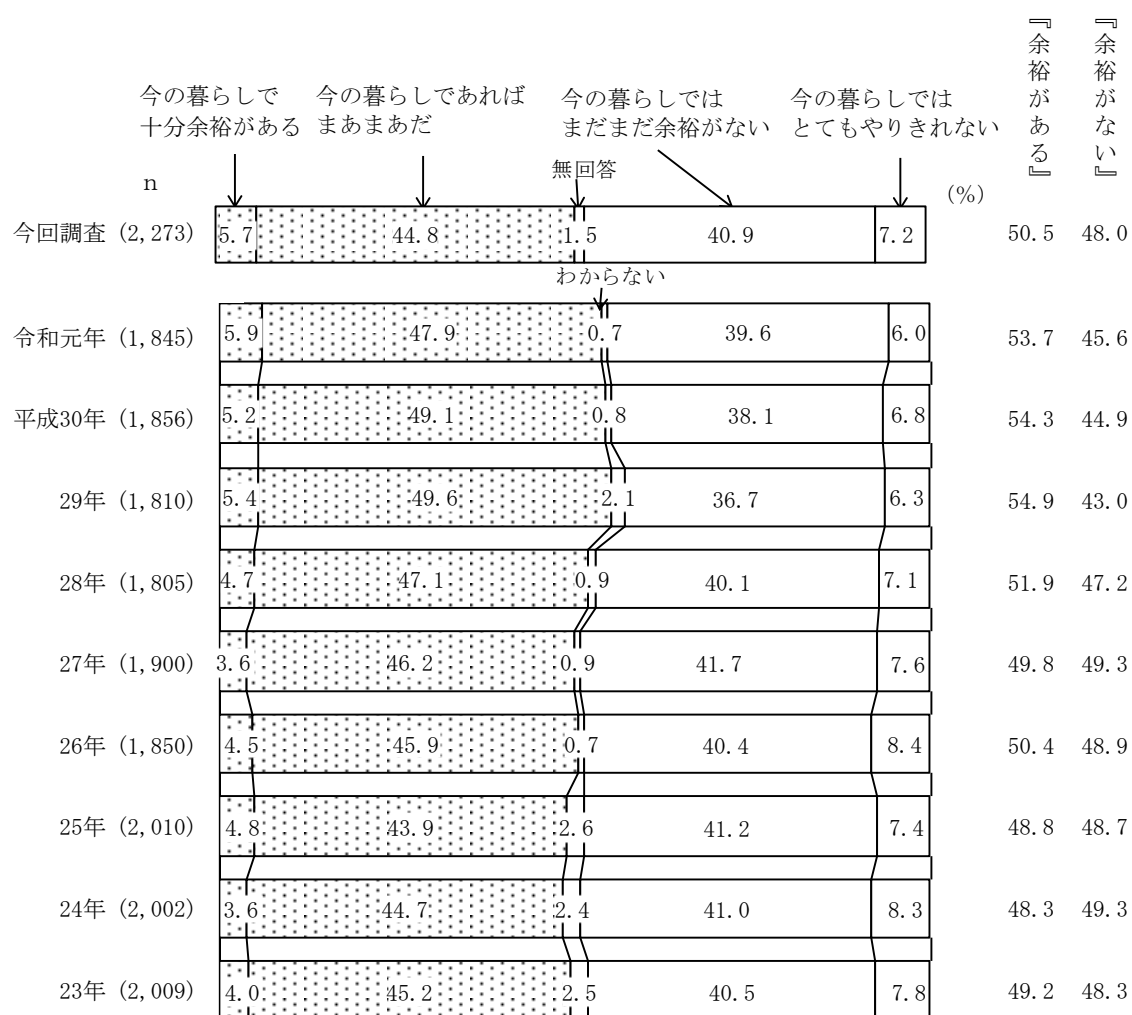
- ・「営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った」が56%でトップ（昨年より18ポイント増加）



(2) 暮らしの余裕：暮らしの余裕について聞いた。

(本文P9～P13)

- ・『余裕がある』は51%
- ・『余裕がない』は48%

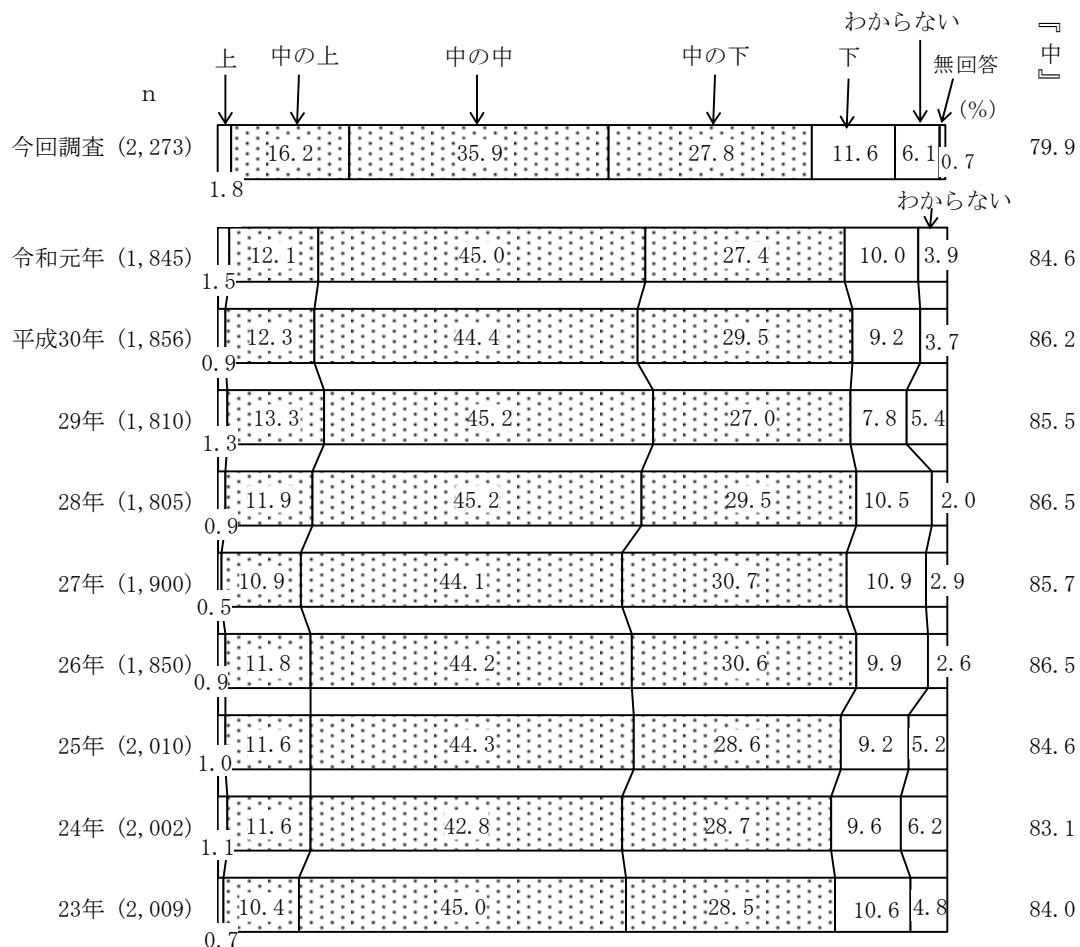


(注) 『余裕がある』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計
『余裕がない』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

(3) 生活程度：5段階に分けた生活程度がどれにあたると思うか聞いた。

(本文P14～P17)

- ・『中』は80%（昨年より5ポイント減少）
- ・「下」は12%

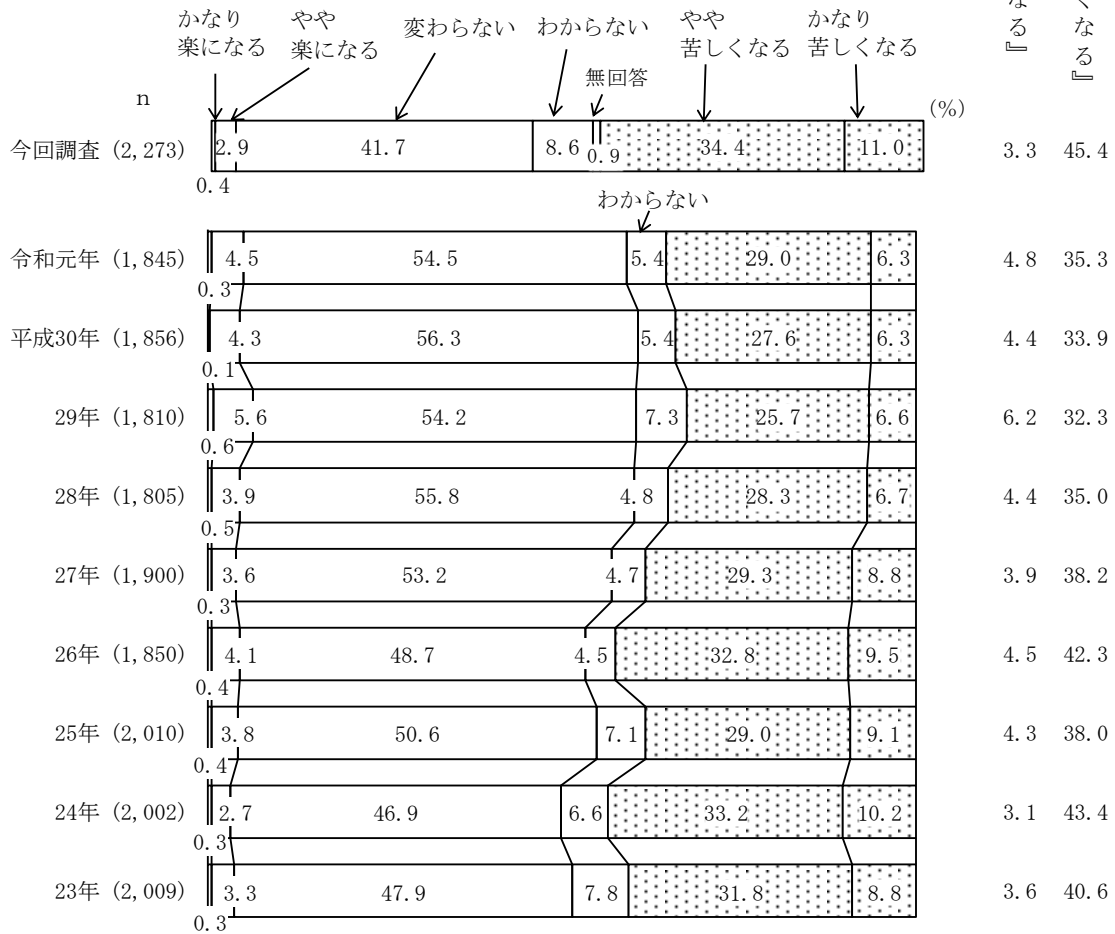


(注) 『中』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

(4) これからの暮らしむき：これから1年間の暮らしむきを聞いた。

(本文 P 18～P 22)

- ・『苦しくなる』は45%（昨年より10ポイント増加）
- ・『変わらない』は42%（昨年より13ポイント減少）

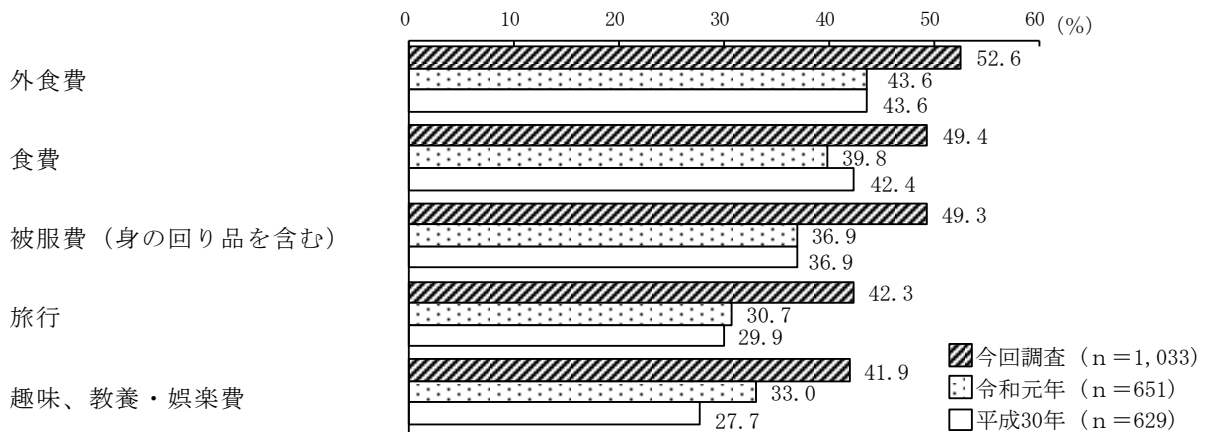


(注) 『楽になる』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計
 『苦しくなる』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

(5) 今後切りつめていくもの：これから1年間の暮らしむきが、「やや苦しくなる」「かなり苦しくなる」と答えた人 (1,033人) に、今後切りつめていこうと思うものについて聞いた。(M. A.) (上位5位)

(本文 P 23～P 25)

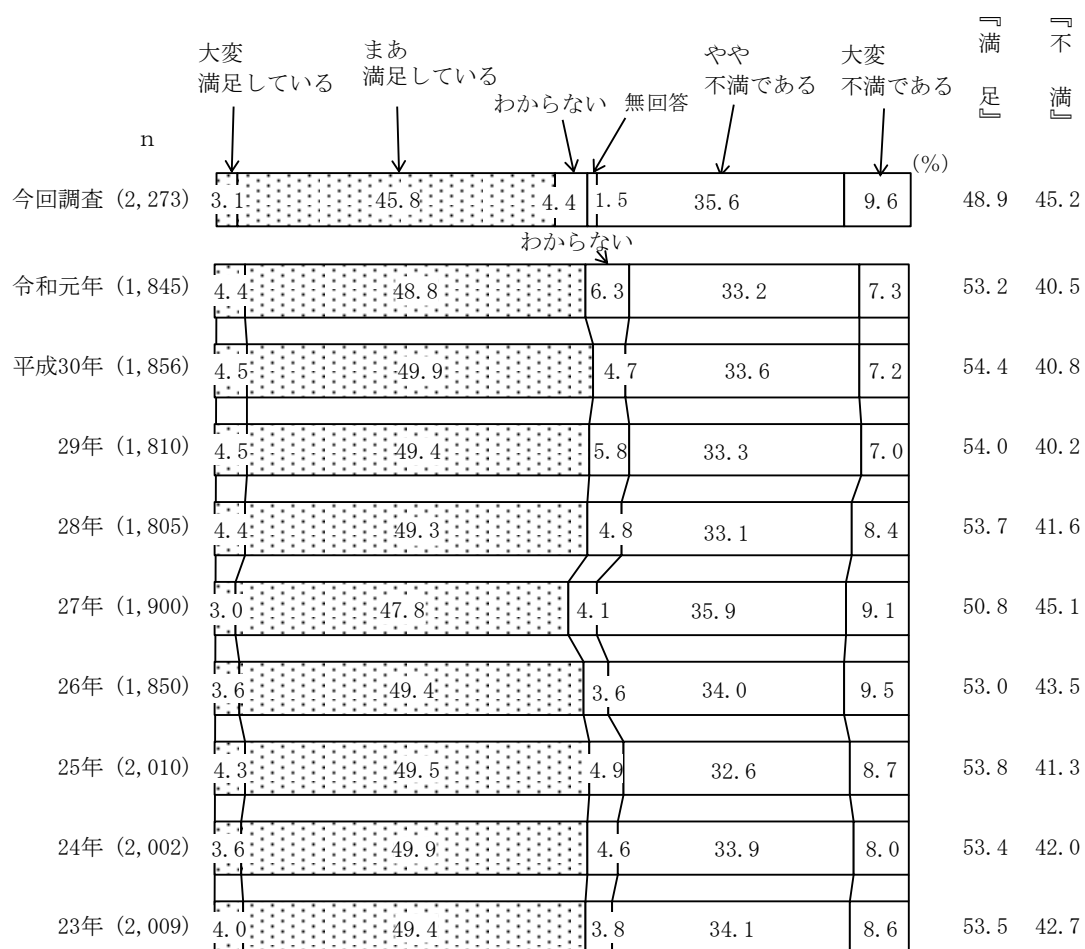
- ・「外食費」が53%でトップ（昨年より9ポイント増加）
- ・「食費」「被服費（身の回り品を含む）」49%が続く



(6) 生活満足度：現在の生活に満足しているかどうか聞いた。

(本文 P 26～P 29)

- ・『満足』は49%（昨年より4ポイント減少）
- ・『不満』は45%（昨年より5ポイント増加）

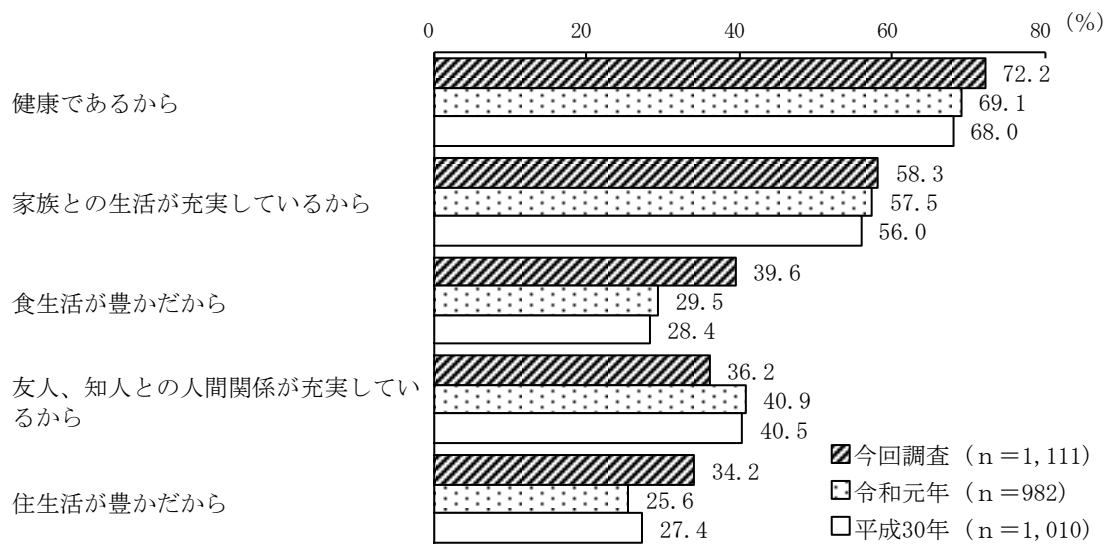


(注) 『満足』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計
 『不満』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

(7) 満足の理由：現在の生活に「大変満足している」「まあ満足している」と答えた人（1,111人）に、その理由を聞いた。（M. A.）（上位5位）

（本文 P 30～P 32）

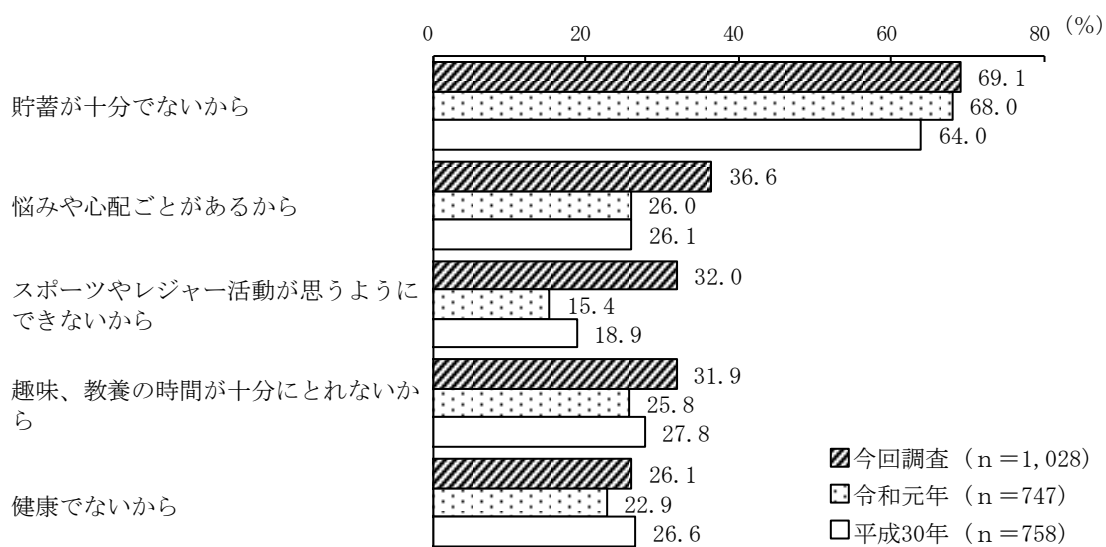
- ・「健康であるから」が72%でトップ
- ・「家族との生活が充実しているから」58%、「食生活が豊かだから」40%が続く



(8) 不満の理由：現在の自分の生活に「やや不満である」「大変不満である」と答えた人（1,028人）に、その理由を聞いた。（M. A.）（上位5位）

（本文 P 33～P 35）

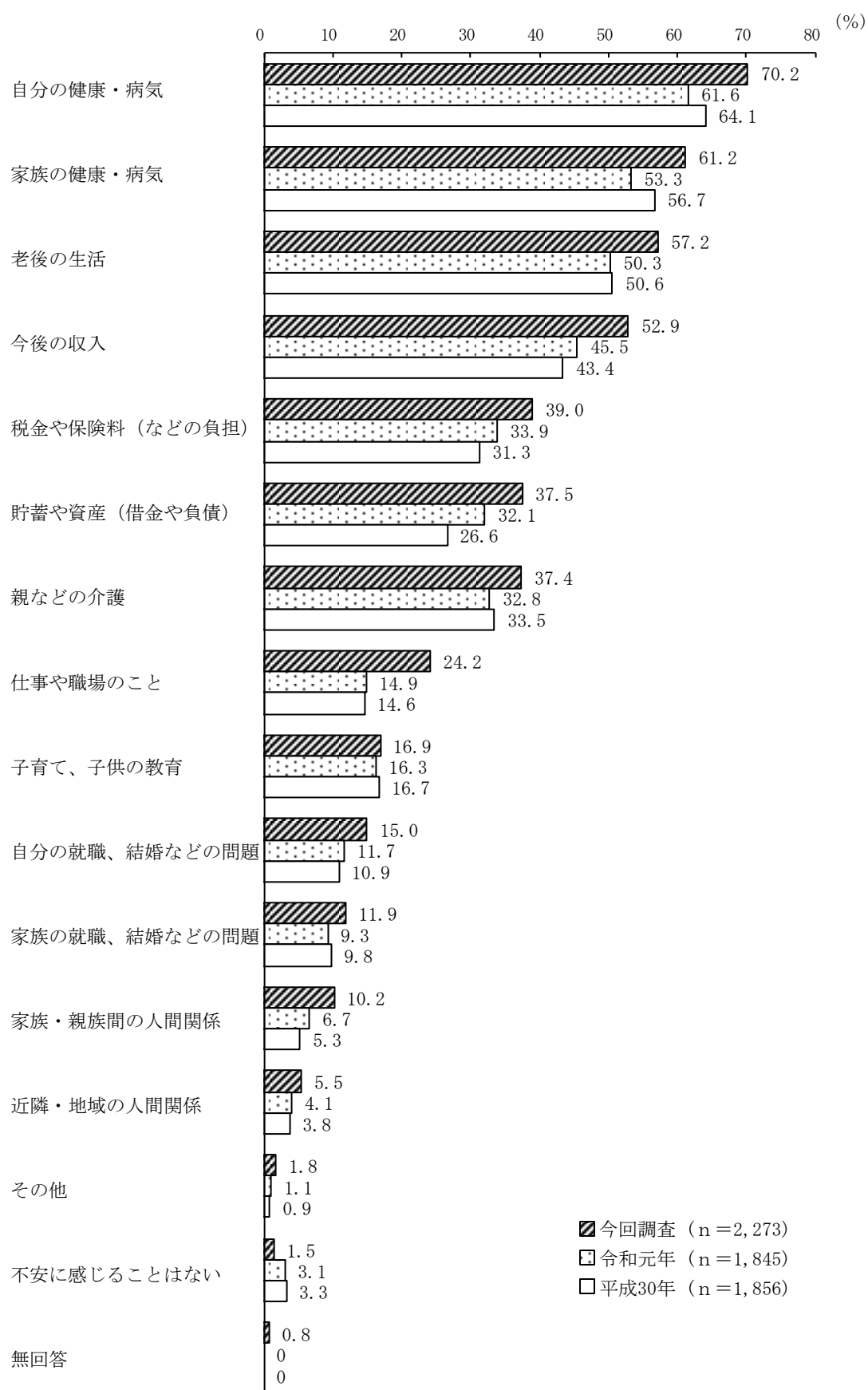
- ・「貯蓄が十分でないから」が69%でトップ
- ・「悩みや心配ごとがあるから」37%、「スポーツやレジャー活動が思うようにできないから」と「趣味、教養の時間が十分にとれないから」32%が続く



(9) 今後の生活の不安：今後の生活で不安を感じていることを聞いた。(M. A.)

(本文 P 36～P 39)

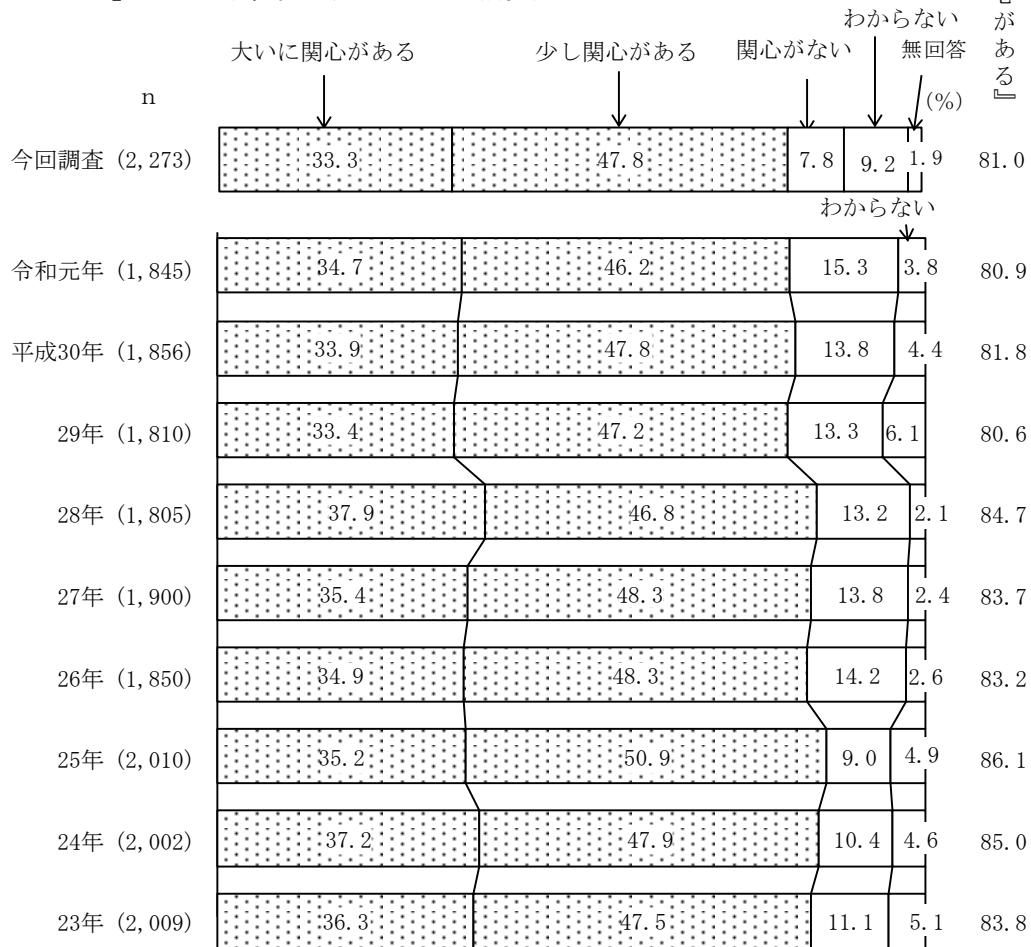
- ・「自分の健康・病気」が70%でトップ（昨年より9ポイント増加）
- ・「家族の健康・病気」61%、「老後の生活」57%、「今後の収入」53%が続く



(10) 税金への関心度とその内容：税金について関心があるかどうか聞いた。

(本文 P 40～P 45)

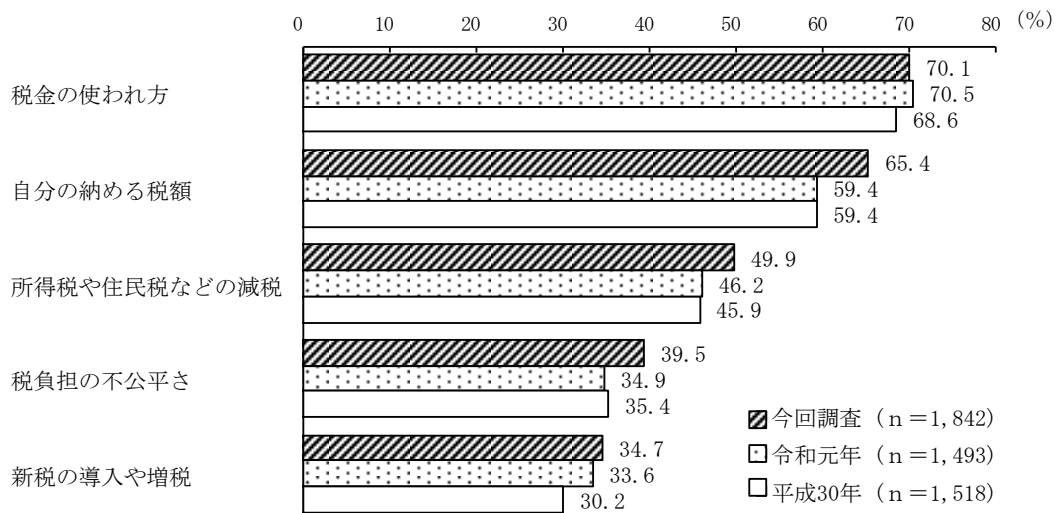
- ・『関心がある』は81%
- ・「関心がない」は8%（昨年より8ポイント減少）



(注) 『関心がある』は「大いに関心がある」「少し関心がある」の合計

[税金への関心の内容]：「大いに関心がある」「少し関心がある」と答えた人（1,842人）に、その内容を聞いた。(M. A.) (上位5位)

- ・「税金の使われ方」が70%でトップ
- ・「自分の納める税額」65%、「所得税や住民税などの減税」50%が続く

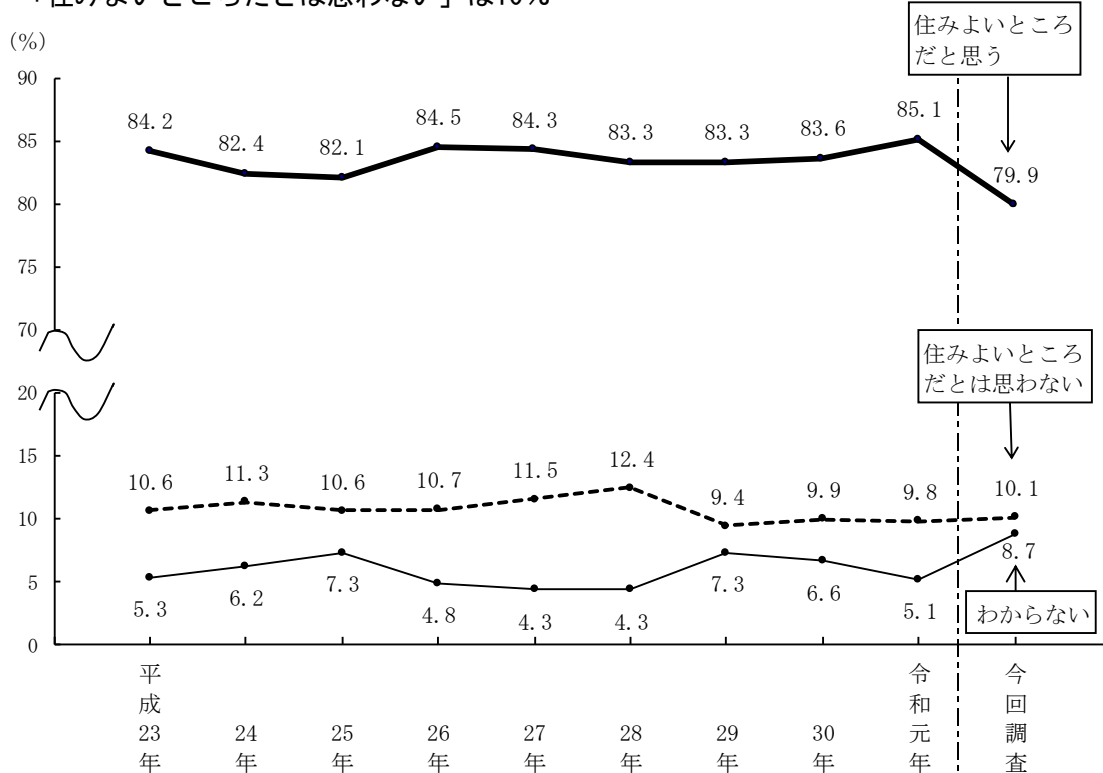


2 住んでいる地域

(1) 地域の住みよさ：今住んでいるところが住みよいところだと思うか聞いた。

(本文 P46～P49)

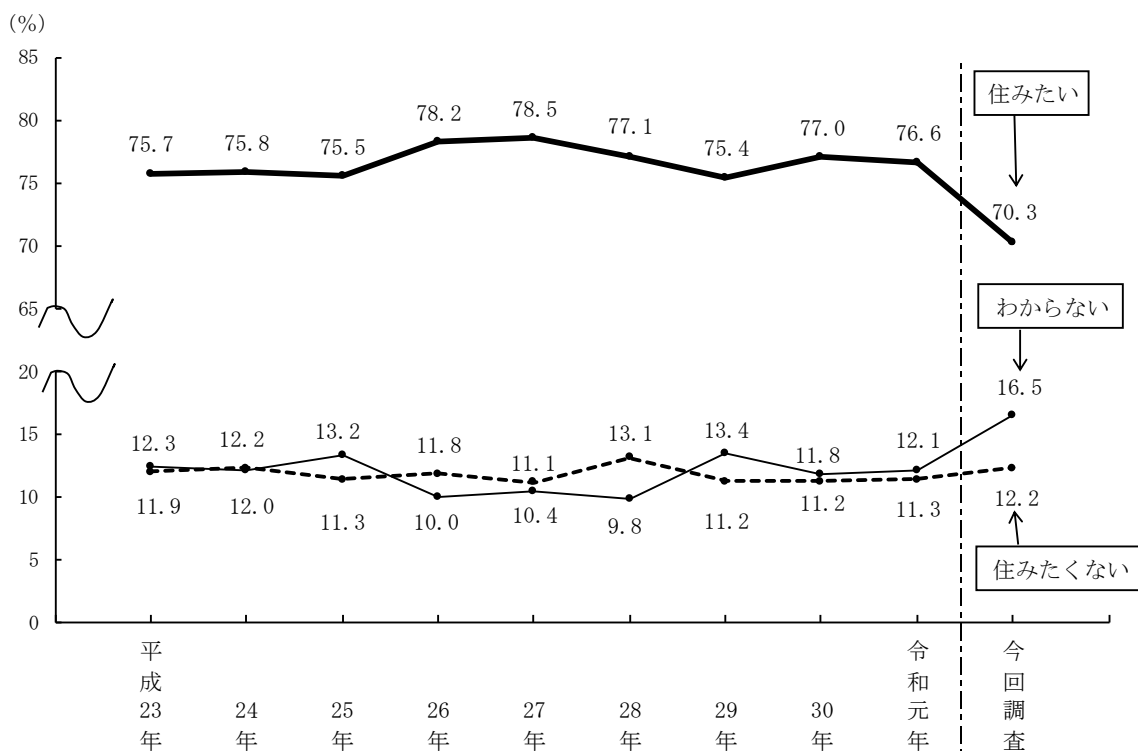
- ・「住みよいところだと思う」は80%（昨年より5ポイント減少）
- ・「住みよいところだとは思わない」は10%



(2) 地域定住意向：今住んでいる地域に今後も住みたいと思うか聞いた。

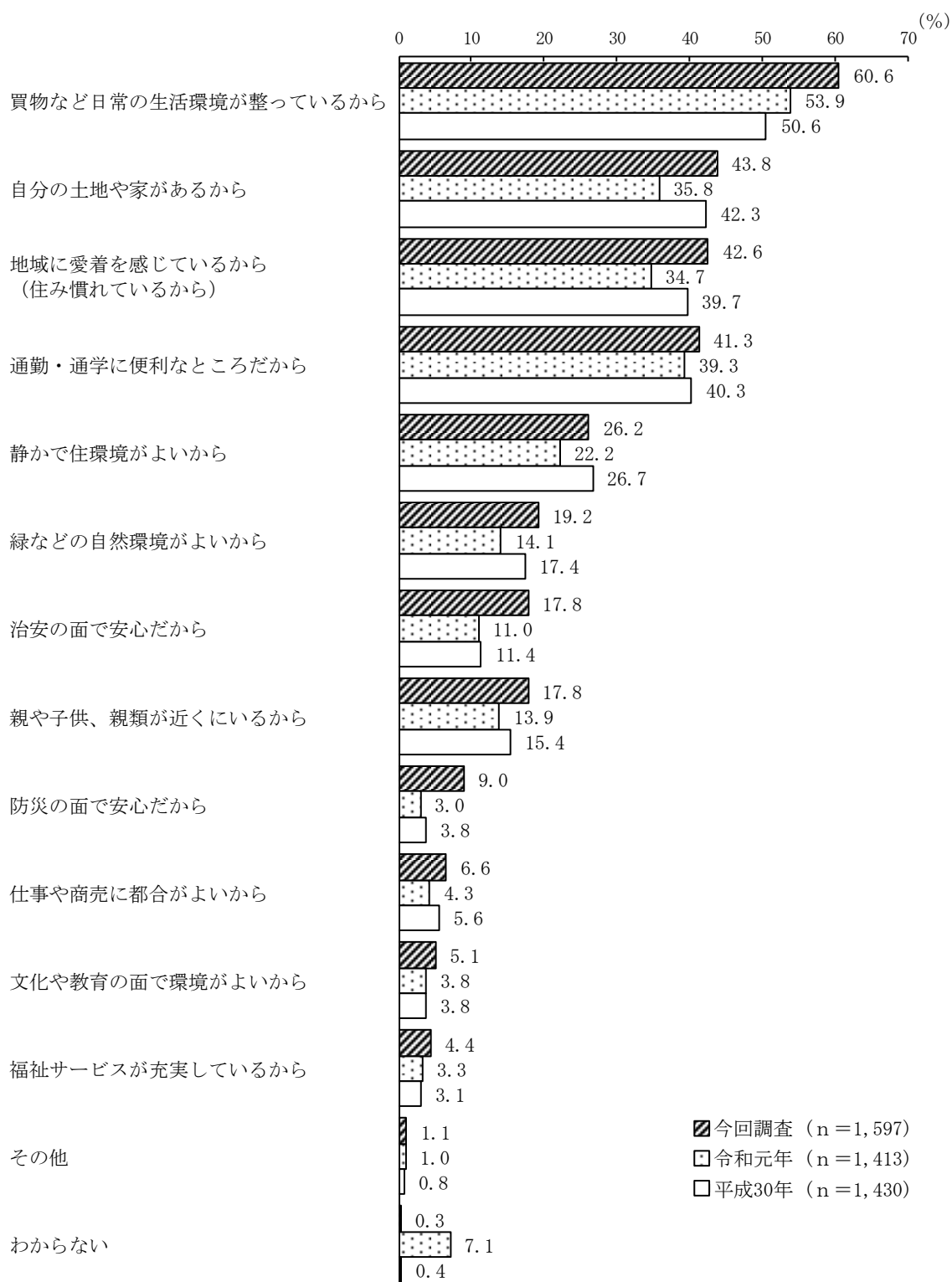
(本文 P50～P59)

- ・「住みたい」は70%（昨年より6ポイント減少）
- ・「住みたくない」は12%



[居住地域に住みたい理由]: 「住みたい」と答えた人 (1,597人) に、その理由を聞いた。(3M. A.)

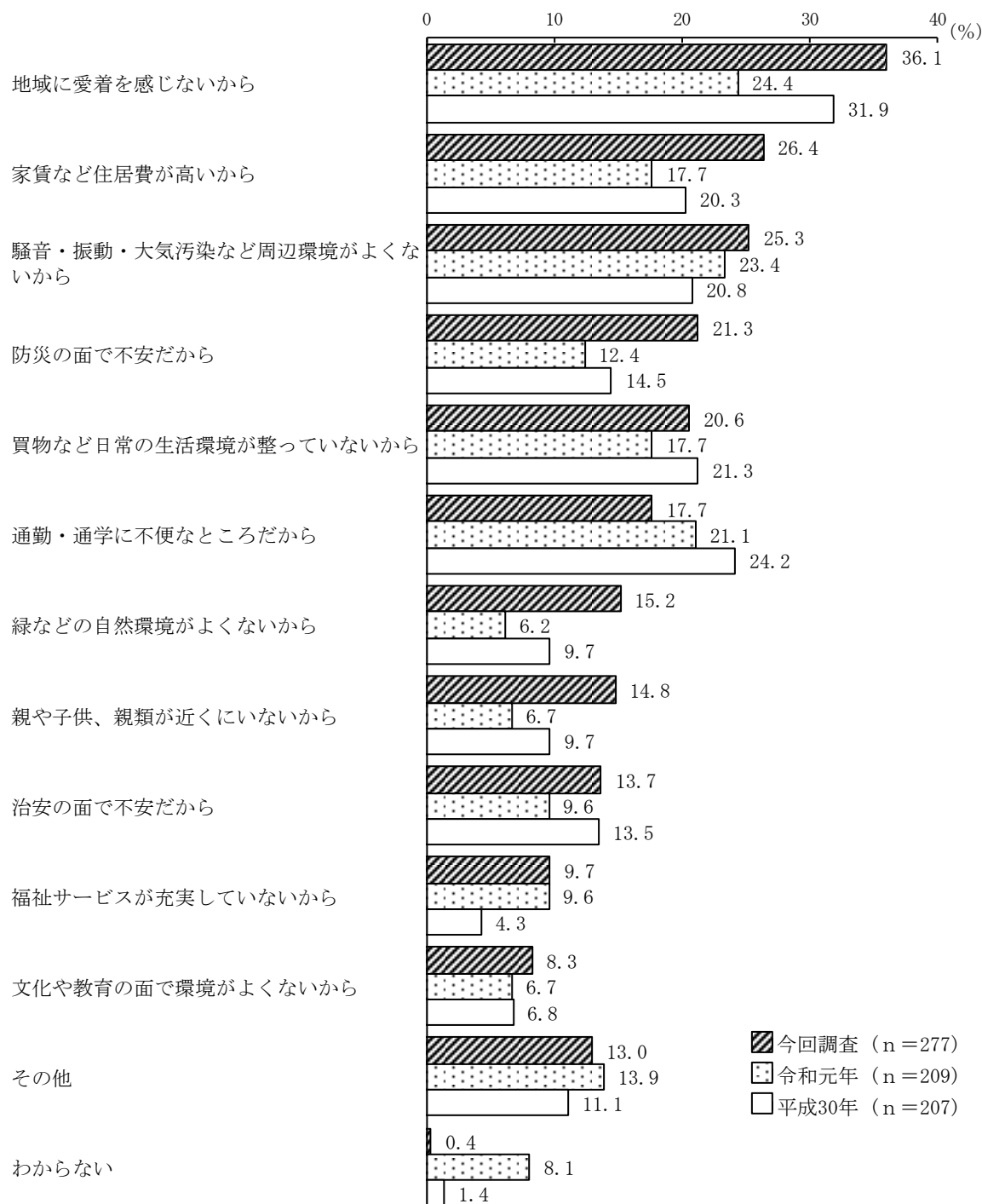
- ・「買物など日常の生活環境が整っているから」が61%でトップ (昨年より7ポイント増加)
- ・「自分の土地や家があるから」44%、「地域に愛着を感じているから (住み慣れているから)」43%、「通勤・通学に便利なところだから」41%が続く



[居住地域に住みたくない理由]：「住みたくない」と答えた人（277人）に、その理由を聞いた。

(3M. A.)

- ・「地域に愛着を感じないから」が36%でトップ（昨年より12ポイント増加）
- ・「家賃など住居費が高いから」26%、「騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくないから」25%が続く

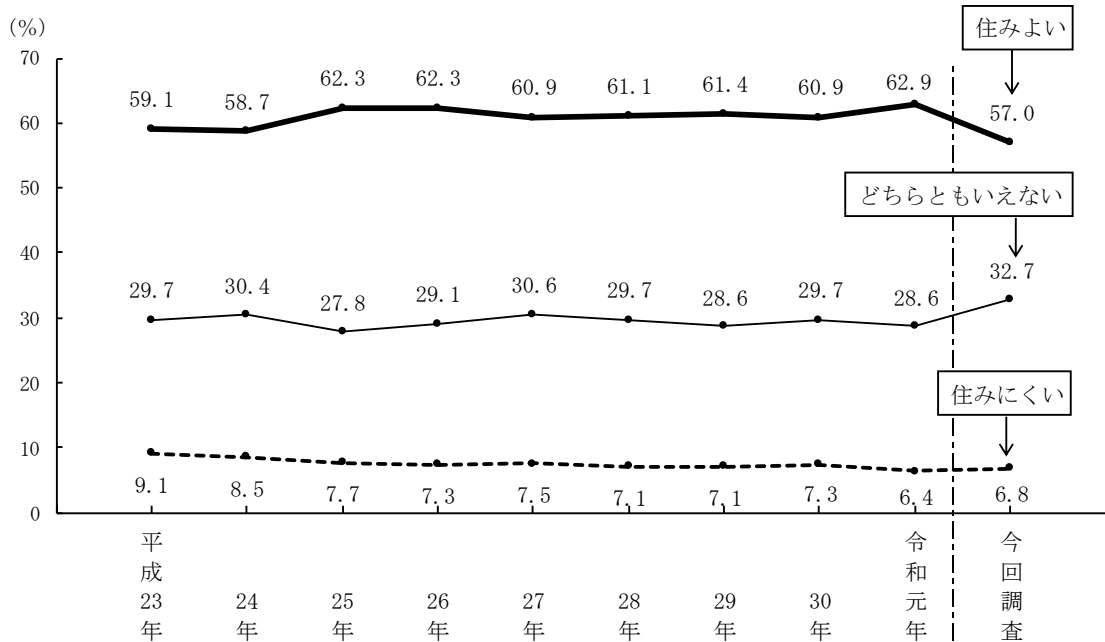


3 東京

(1) 東京の住みよさ：東京は全般的にみて住みよいところだと思うか聞いた。

(本文 P60～P65)

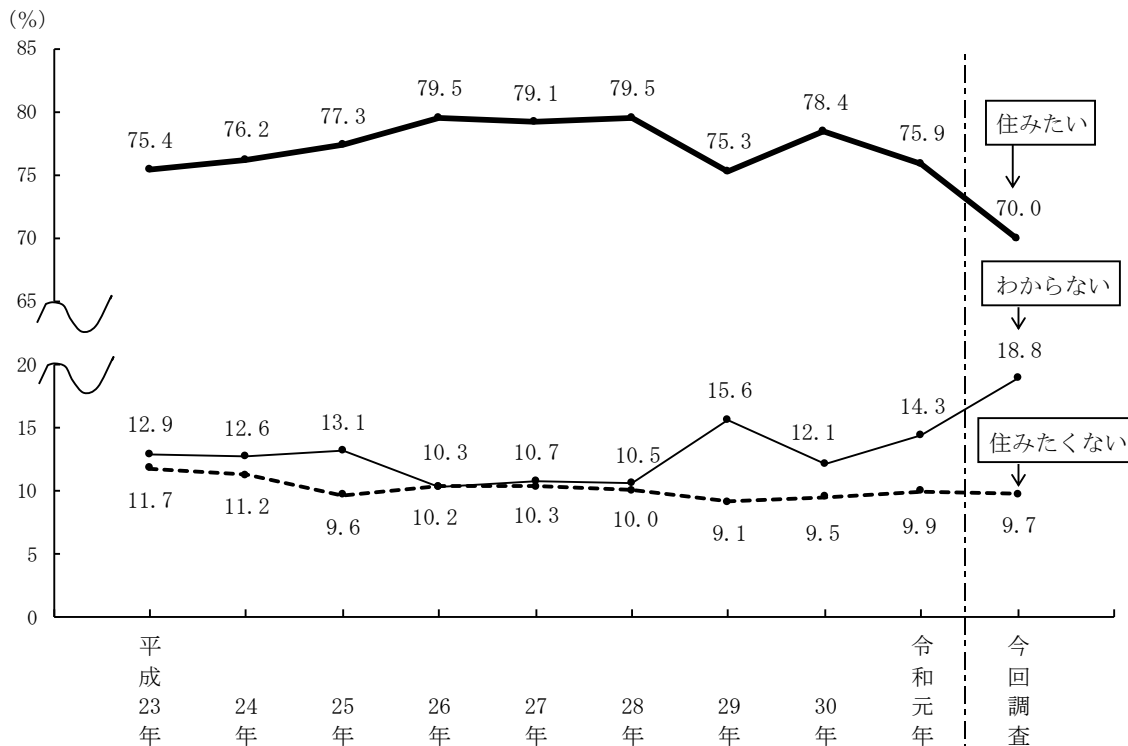
- ・「住みよい」は57% (昨年より6ポイント減少)
- ・「住みにくい」は7%



(2) 東京定住意向：東京に今後もずっと住みたいと思うか聞いた。

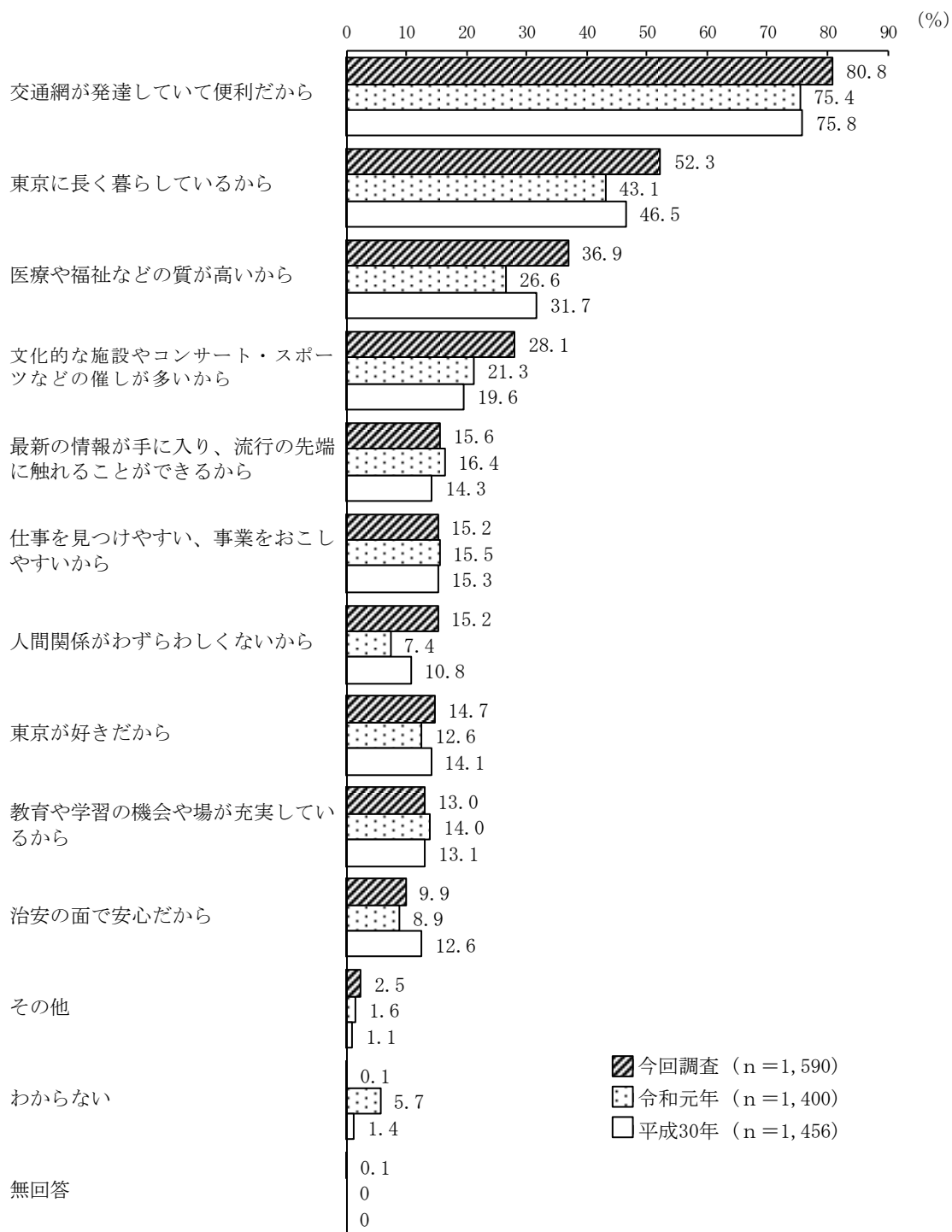
(本文 P66～P78)

- ・「住みたい」は70% (昨年より6ポイント減少)
- ・「住みたくない」は10%



[東京に住みたい理由]：「住みたい」と答えた人（1,590人）に、その理由を聞いた。（3M. A.）

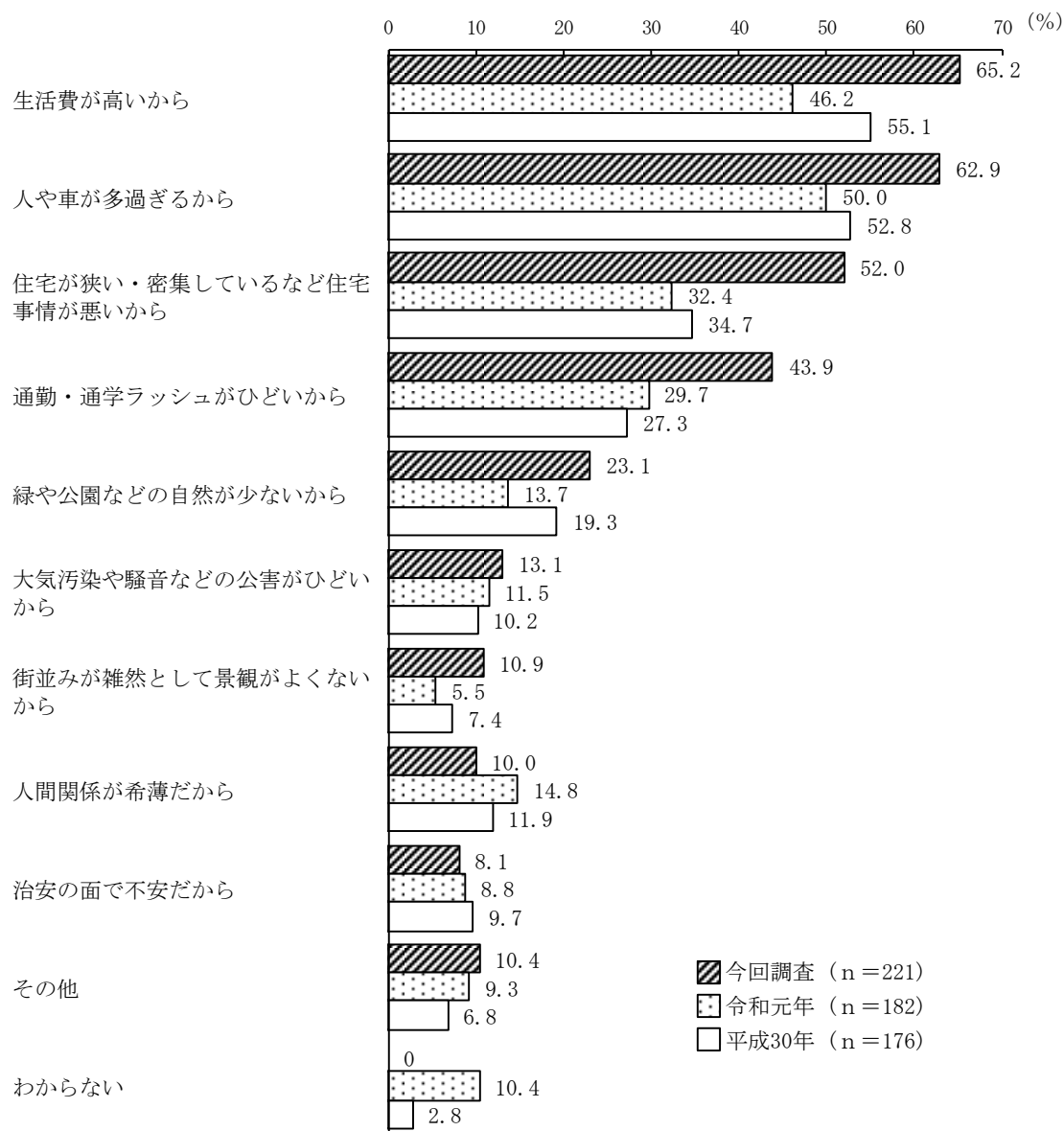
- ・「交通網が発達していて便利だから」が81%でトップ（昨年より5ポイント増加）
- ・「東京に長く暮らしているから」52%、「医療や福祉などの質が高いから」37%が続く



[東京に住みたくない理由]：「住みたくない」と答えた人（221人）に、その理由を聞いた。

(3M. A.)

- ・「生活費が高いから」が65%でトップ（昨年より19ポイント増加）
- ・「人や車が多過ぎるから」63%、「住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから」52%が
続く



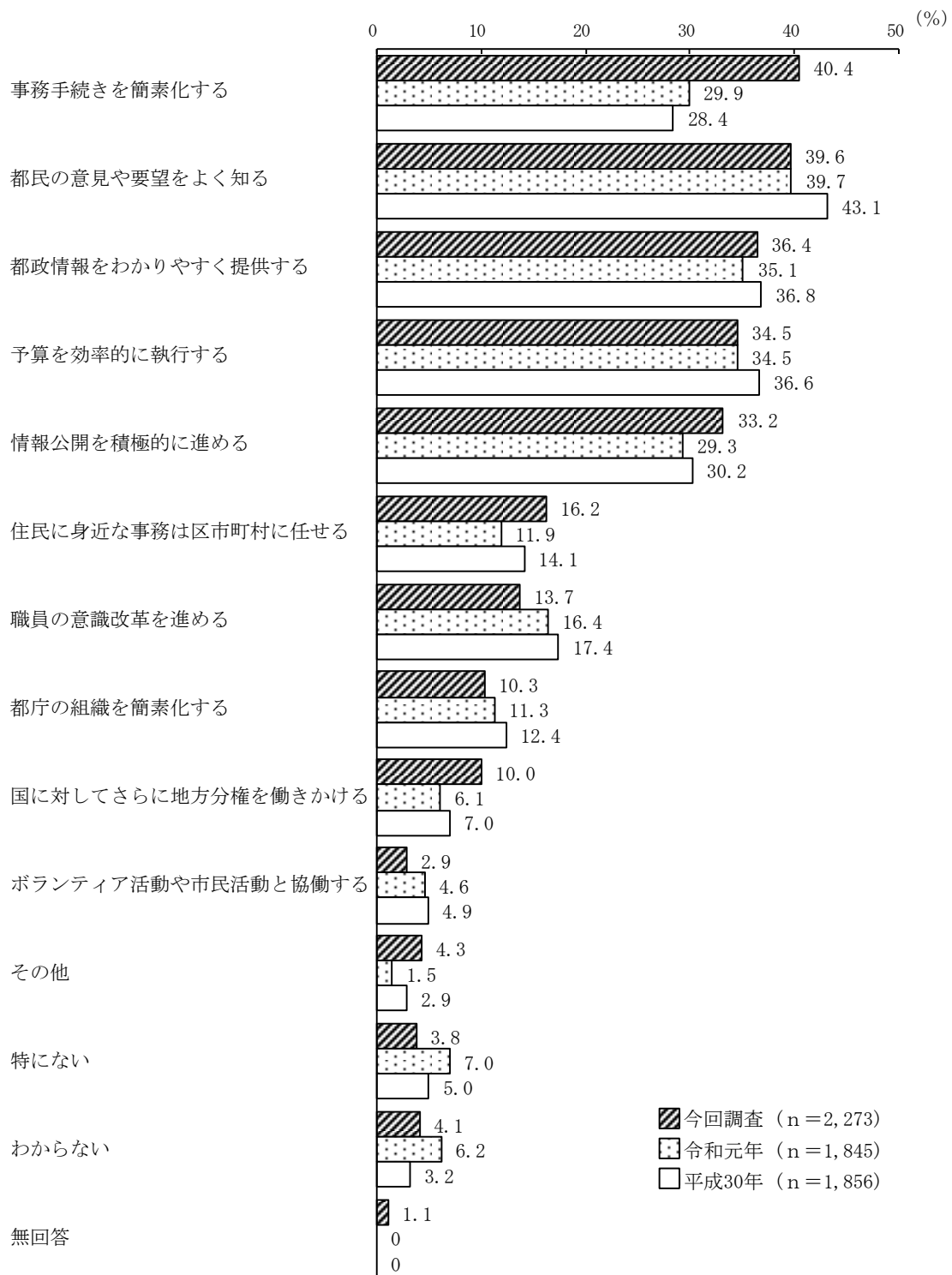
4 都政への要望

(1) これからの都政の進め方：これからの都政の進め方に対して、特に望むことを聞いた。

(3M. A.)

(本文 P 79～P 81)

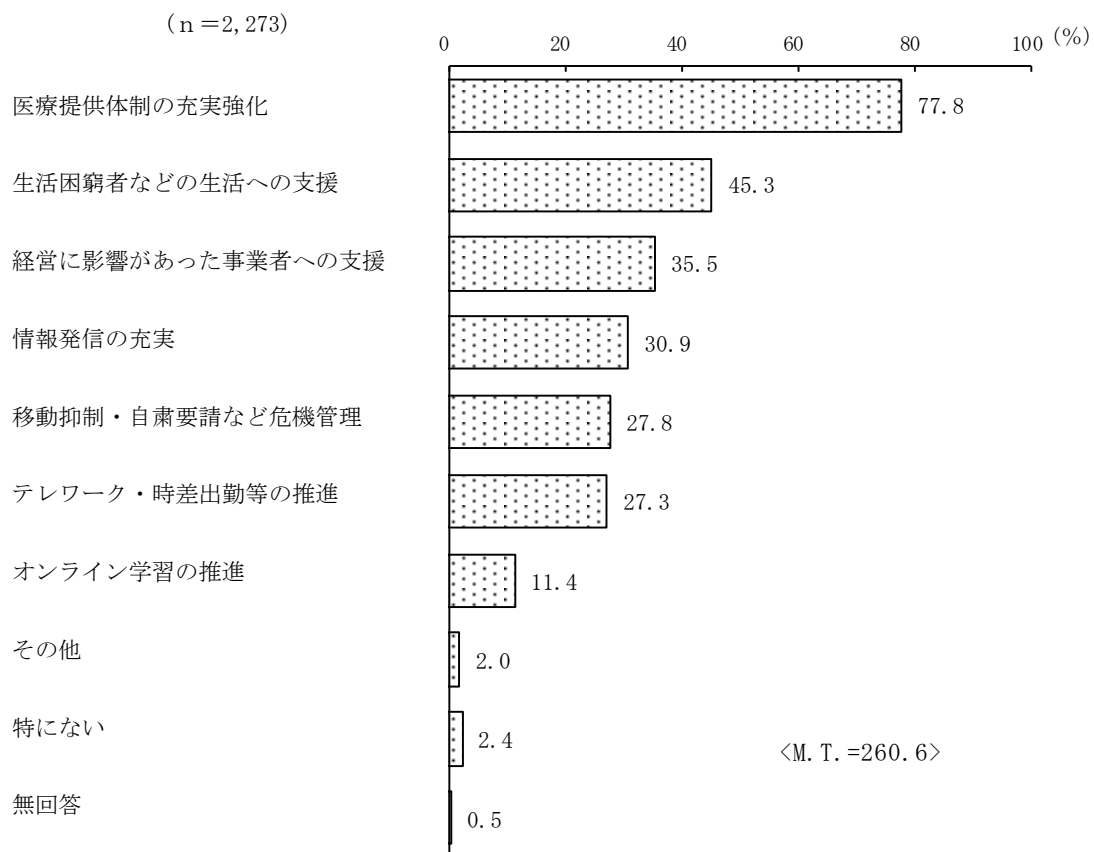
- ・「事務手続きを簡素化する」が40%でトップ（昨年より11ポイント増加）
- ・「都民の意見や要望をよく知る」40%、「都政情報をわかりやすく提供する」36%、「予算を効率的に執行する」35%が続く



(2) 新型コロナウイルス感染症対策：東京都に対して望む対策について聞いた。(3M. A.)

(本文 P82～P84)

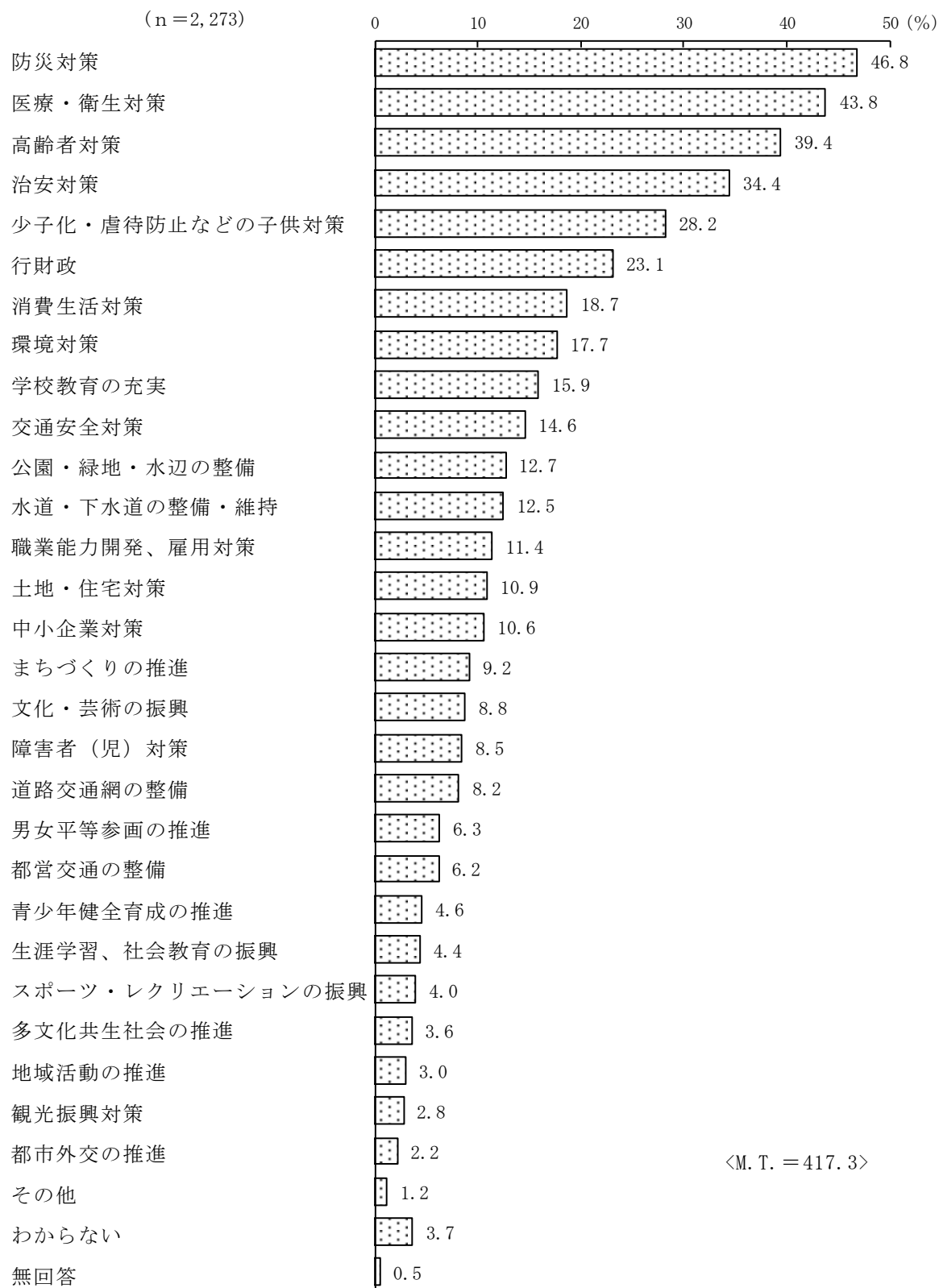
- ・「医療提供体制の充実強化」が78%でトップ
- ・「生活困窮者などの生活への支援」45%、「経営に影響があった事業者への支援」36%、「情報発信の充実」31%が続く



(3) 都政への要望：東京都に対して特に力を入れてほしい施策を聞いた。(5M. A.)

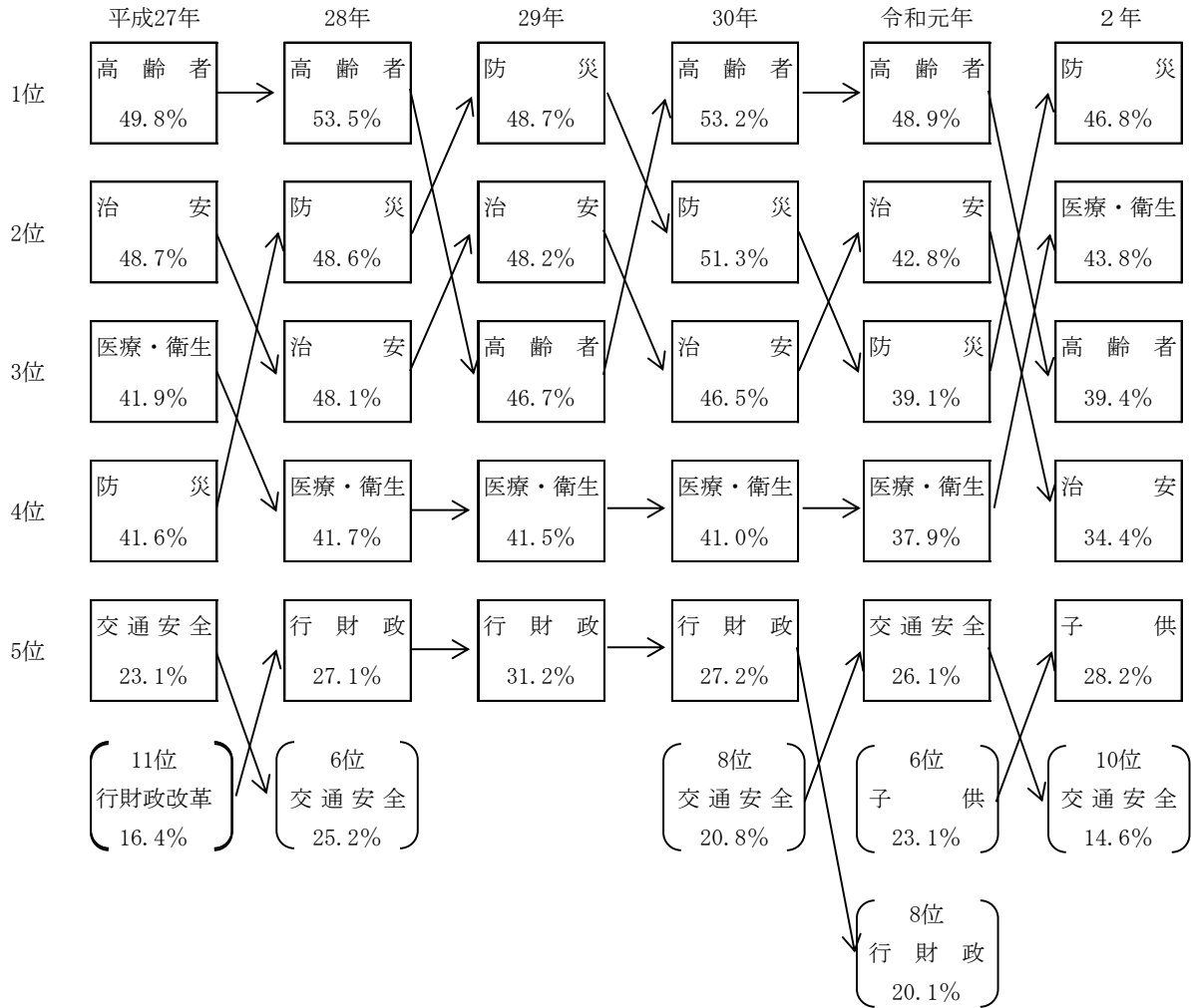
(本文 P85～P88)

- ・「防災対策」が47%でトップ
- ・「医療・衛生対策」44%、「高齢者対策」39%、「治安対策」34%、「少子化・虐待防止などの子供対策」28%が続く



[上位5位の推移]

- ・「防災対策」は昨年より8ポイント増加し、1位
- ・「医療・衛生対策」は昨年より6ポイント増加し、2位
- ・「高齢者対策」は昨年より10ポイント減少し、3位



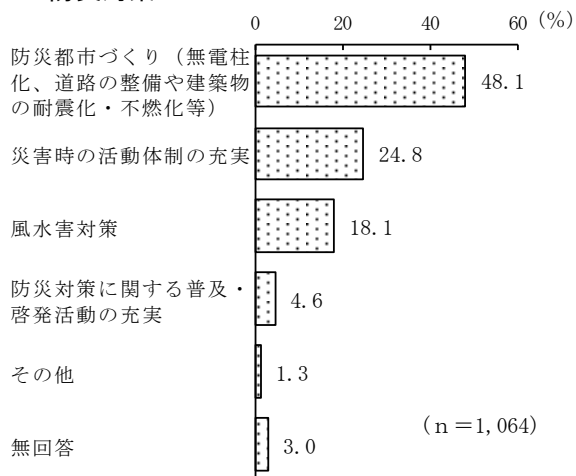
(注1) 平成28年から「行財政改革」を「行財政」に表現を変えている。

(注2) 「子供」：「少子化・虐待防止などの子供対策」

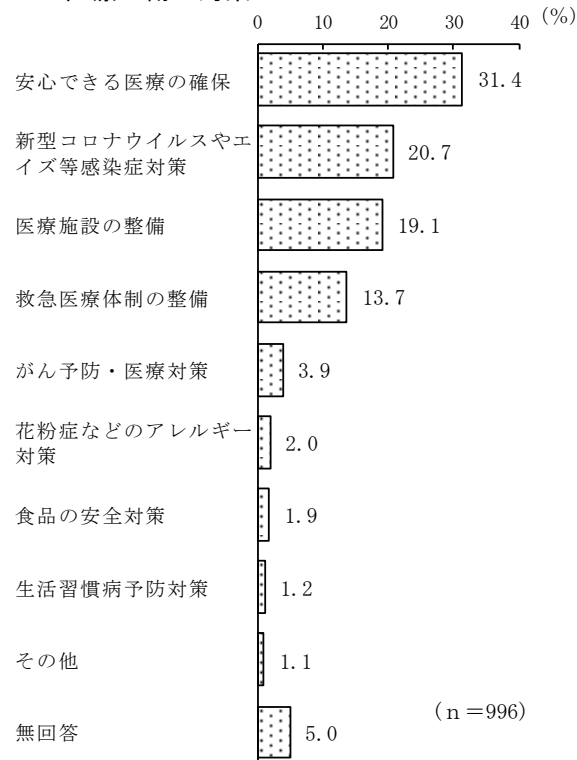
(4) 具体的な要望施策（上位5位について）：力を入れてほしい分野について、具体的な内容を示して聞いた。

(本文 P89～P94)

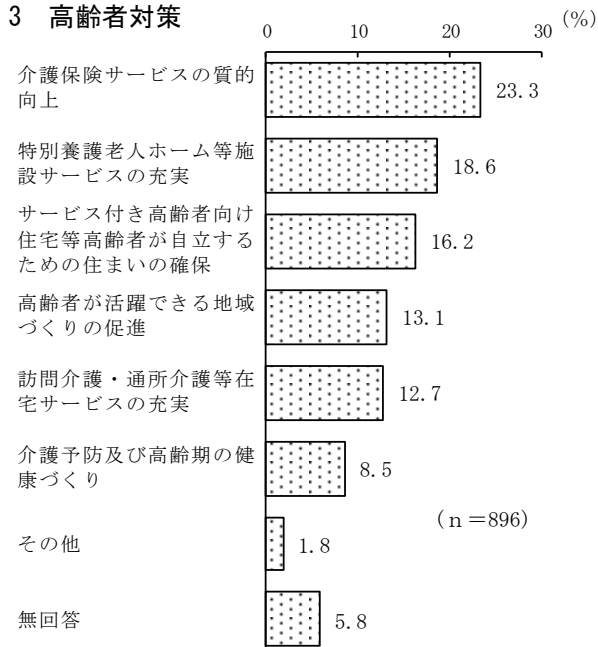
1 防災対策



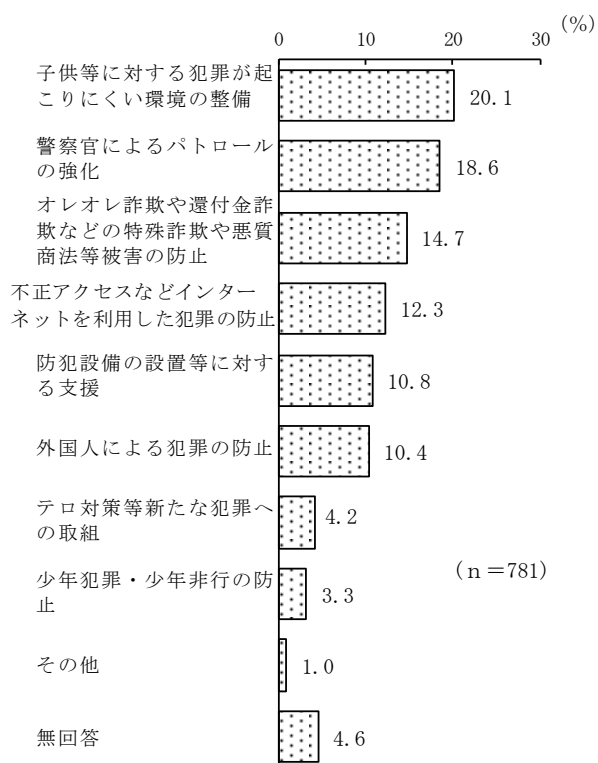
2 医療・衛生対策



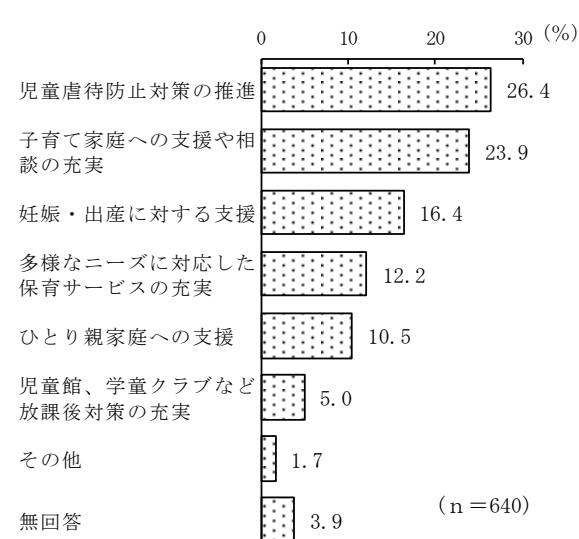
3 高齢者対策



4 治安対策



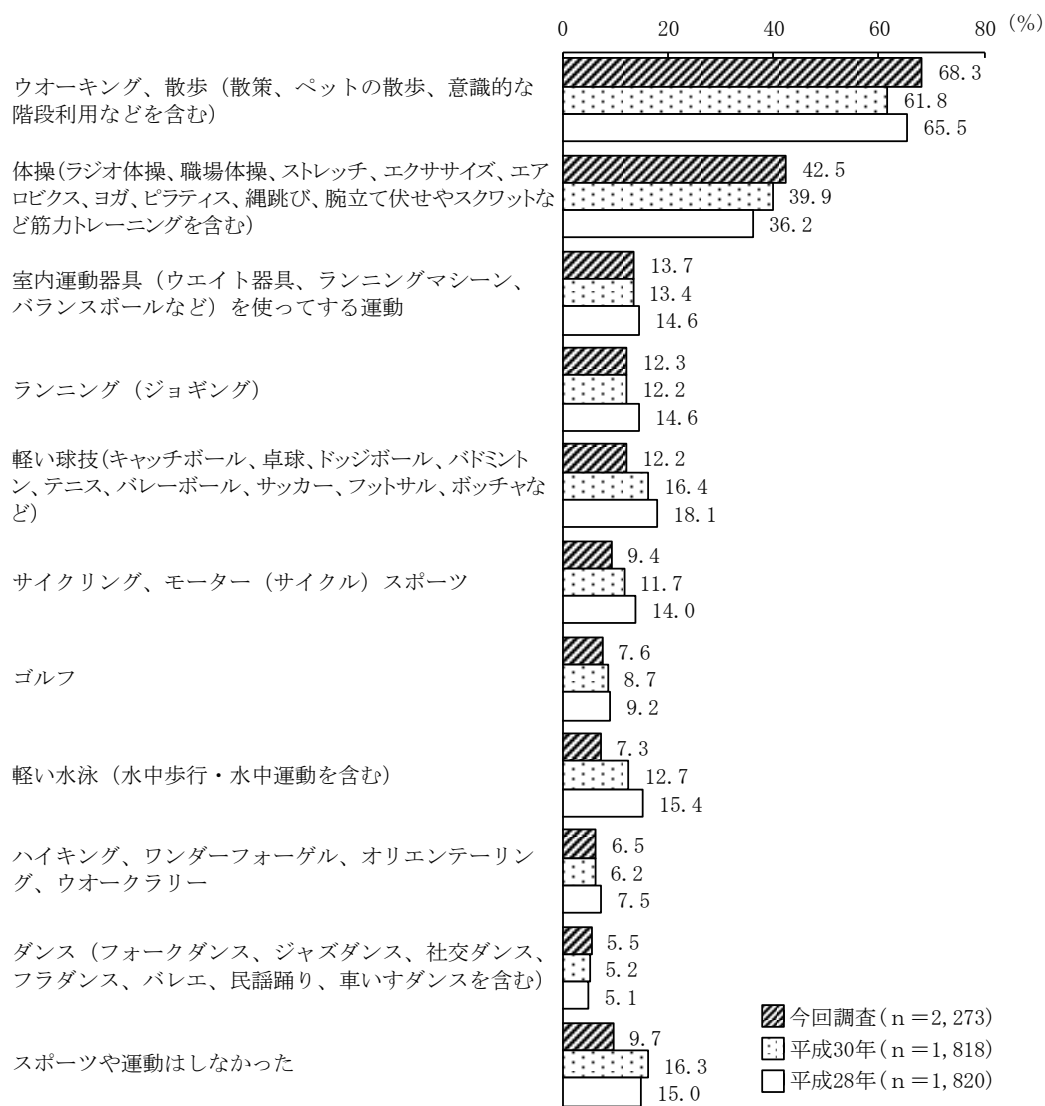
5 少子化・虐待防止などの子供対策



5 都民のスポーツ活動・障害者スポーツ

(1) スポーツ・運動の1年間の実施状況：この1年間に実施したスポーツや運動の種目を聞いた。
(M. A.)
(本文 P 95～ P 101)

- ・「ウォーキング、散歩」が68%でトップ（平成30年より7ポイント増加）
- ・「体操」43%、「室内運動器具を使ってする運動」14%が続く
- ・「スポーツや運動はしなかった」は10%（平成30年より7ポイント減少）



(注1) 選択肢は全38種目のうち上位10種目と「スポーツや運動はしなかった」

(注2) 「ウォーキング、散歩（散策、ペットの散歩、意識的な階段利用などを含む）」は、平成28年では「ウォーキング、散歩（散策、ペットの散歩などを含む）」

(注3) 「体操（ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳び、腕立て伏せやスクワットなど筋力トレーニングを含む）」は、平成30年では「体操（ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳び、筋力トレーニングを含む）」、平成28年は「体操（ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳びを含む）」

(注4) 「スポーツや運動はしなかった」は平成28年では「スポーツや運動は実施しなかった」

(注5) 平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」
平成28年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成28年9月調査）」

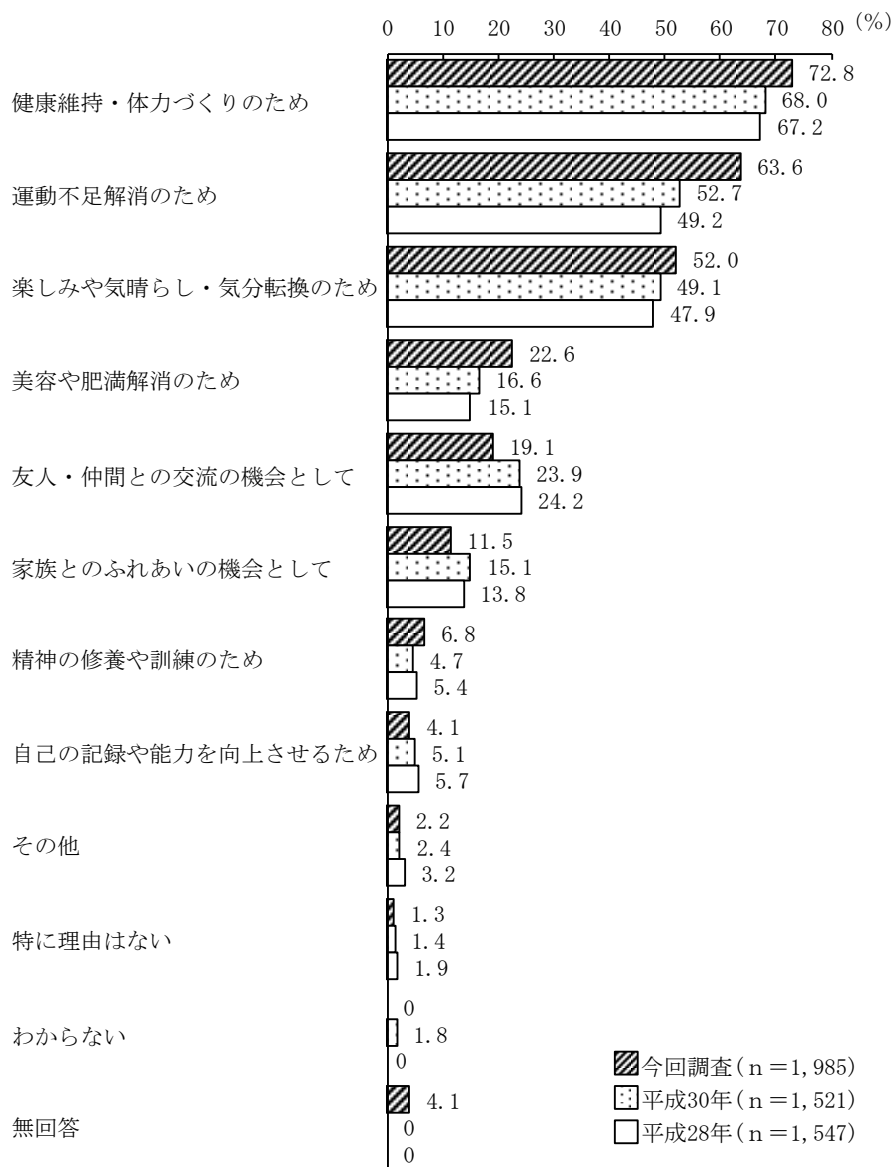
(2) スポーツ・運動を実施した理由：

この1年間にスポーツや運動を実施したと答えた人（1,985人）に、実施した理由を聞いた。

(M. A.)

(本文 P102～P104)

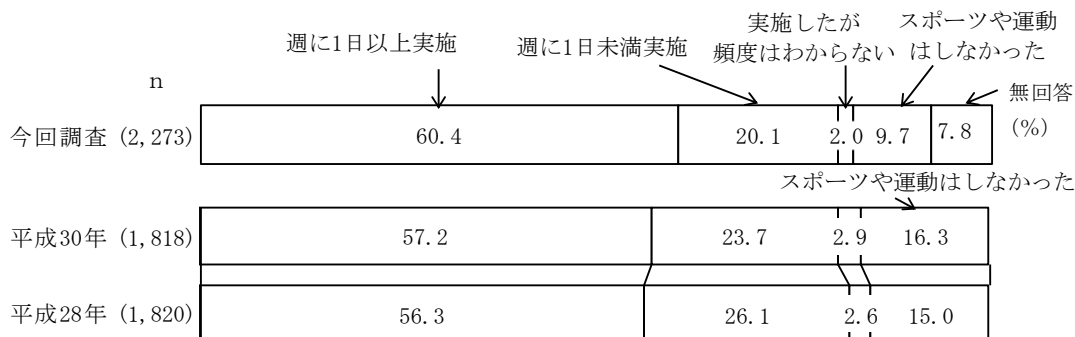
- ・「健康維持・体力づくりのため」が73%でトップ（平成30年より5ポイント増加）
- ・「運動不足解消のため」64%、「楽しみや気晴らし・気分転換のため」52%が続く



- (注1) 「健康維持・体力づくりのため」は平成28年では「健康・体力づくりのため」
 (注2) 「運動不足解消のため」は平成28年では「運動不足を感じるから」
 (注3) 「楽しみや気晴らし・気分転換のため」は平成28年では「楽しみや、気晴らしとして」
 (注4) 「友人・仲間との交流の機会として」は平成28年では「友人・仲間との交流として」
 (注5) 「家族とのふれあいの機会として」は平成28年では「家族のふれあいとして」
 (注6) 平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」
 平成28年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成28年9月調査）」

(3) スポーツ・運動を実施した日数(頻度)：この1年間のスポーツ・運動の実施頻度を聞いた。
(本文 P 105～P 111)

- ・『週に1日以上実施』は60% (平成30年より3ポイント増加)
- ・『週に1日未満実施』は20% (平成30年より4ポイント減少)

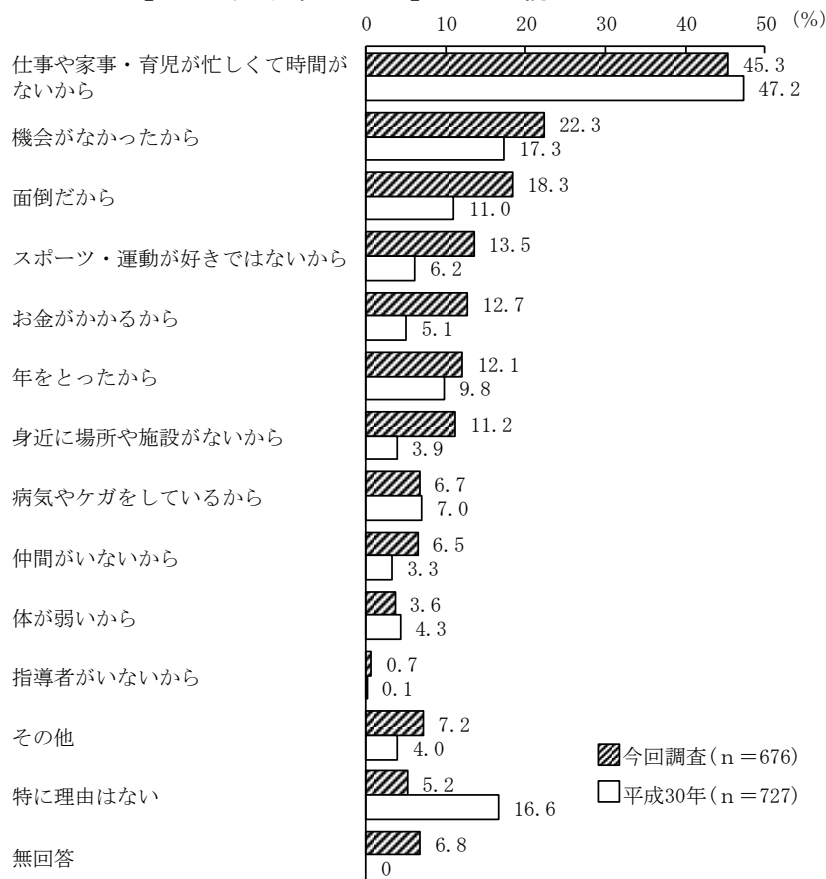


- (注1) 『週に1日以上実施』は「週3日以上」「週に2日」「週に1日」の合計
(注2) 「スポーツや運動はしなかった」は平成28年では「スポーツや運動は実施しなかった」
(注3) 平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査(平成30年9月調査)」
平成28年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査(平成28年9月調査)」

(4) スポーツ・運動の実施頻度が週1日未満の理由：

この1年間に「スポーツや運動はしなかった」または、「週に1日未満実施」と答えた人(676人)に、その理由を聞いた。(M. A.)
(本文 P 112～P 114)

- ・「仕事や家事・育児が忙しくて時間がないから」が45%でトップ
- ・「機会がなかったから」22%、「面倒だから」18%が続く



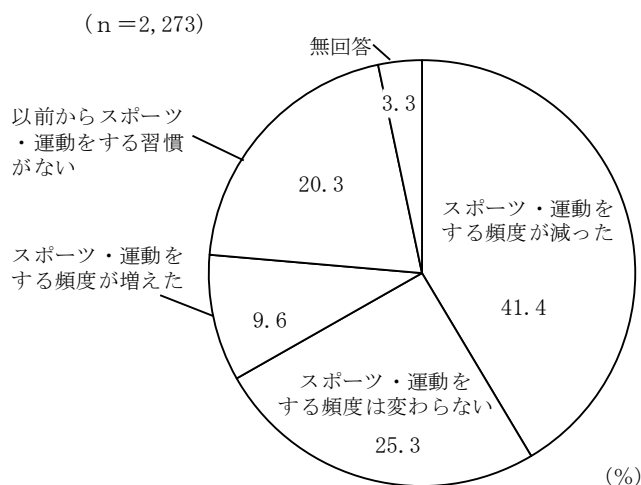
(注) 平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査(平成30年9月調査)」

(5) 新型コロナウイルス感染症によるスポーツ・運動習慣の変化：

新型コロナウイルス感染症の影響によるスポーツ・運動をする習慣の変化を聞いた。

(本文 P 115～P 118)

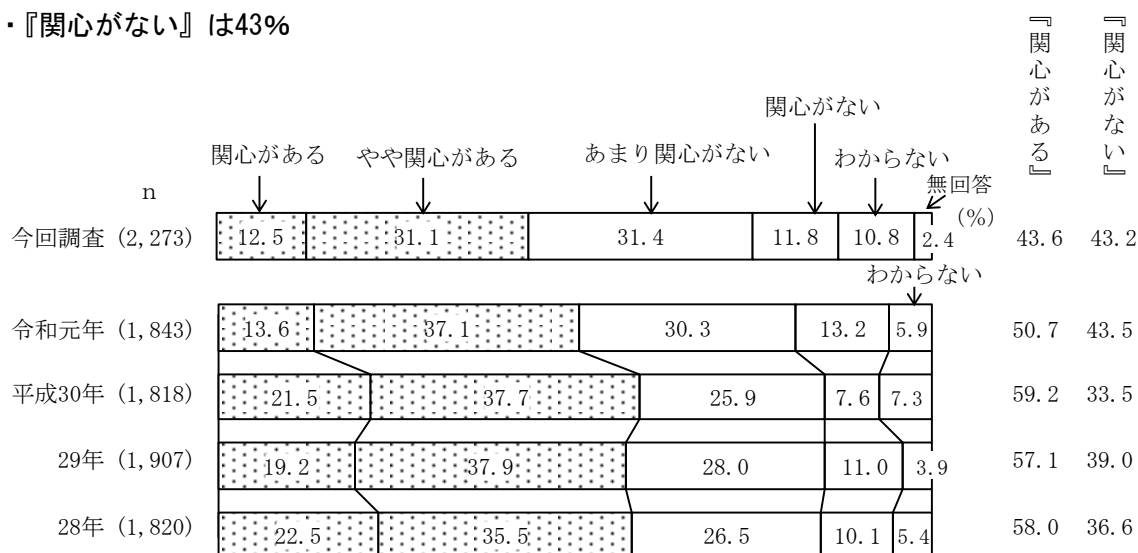
- ・「スポーツ・運動をする頻度が減った」は41%
- ・「スポーツ・運動をする頻度は変わらない」25%、「スポーツ・運動をする頻度が増えた」10%
- ・「以前からスポーツ・運動をする習慣がない」20%



(6) 障害者スポーツへの関心度：障害者スポーツへの関心があるかを聞いた。

(本文 P 119～P 122)

- ・『関心がある』は44% (令和元年より7ポイント減少)
- ・『関心がない』は43%



(注1) 『関心がある』は「関心がある」「やや関心がある」の合計

『関心がない』は「関心がない」「あまり関心がない」の合計

(注2) 令和元年は「オリンピック・パラリンピック開催、障害者スポーツに関する世論調査」(令和元年11月調査)

平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査」(平成30年9月調査)

平成29年は「オリンピック・パラリンピック開催、障害者スポーツに関する世論調査」(平成29年9月調査)

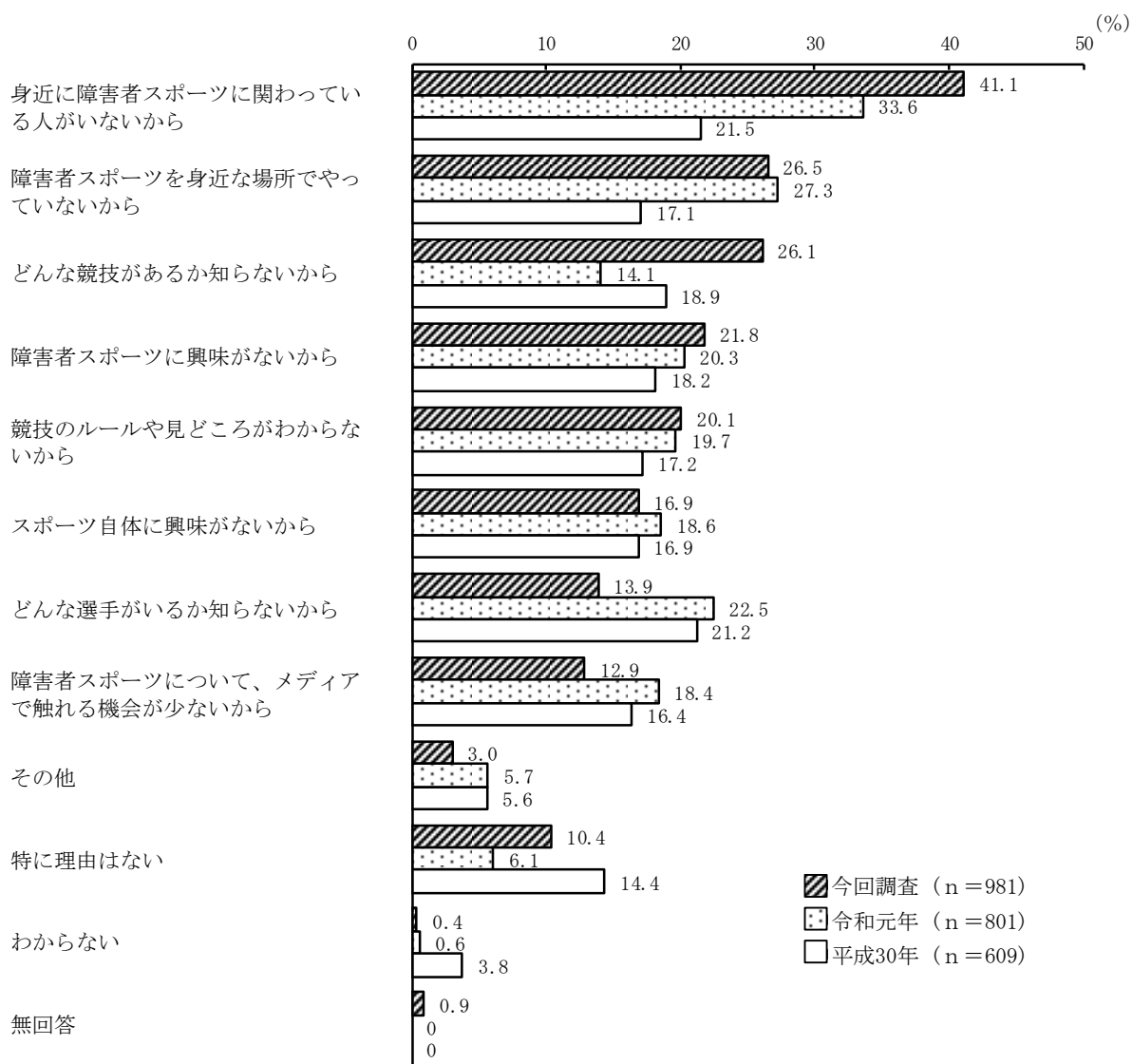
平成28年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査」(平成28年9月調査)

(7) 障害者スポーツに関心がない理由：

「あまり関心がない」「関心がない」と答えた人（981人）に、障害者スポーツに関心がない理由を聞いた。（M. A.）

（本文 P 123～P 126）

- ・「身近に障害者スポーツに関わっている人がいないから」が41%でトップ
（令和元年より8ポイント増加）
- ・「障害者スポーツを身近な場所でやっていないから」27%、「どんな競技があるか知らないから」26%が続く



(注) 令和元年は「オリンピック・パラリンピック開催、障害者スポーツに関する世論調査」（令和元年11月調査）
平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査」（平成30年9月調査）